

# 環境データ

301-1,302-1,302-2,302-3,302-4,302-5,303-3,303-4,303-5,305-1,305-2,305-3,305-4,305-5,305-6,305-7,306-1,306-3,306-4

## 環境マネジメント

### ▶ 集計対象としているサイト:(売上高比率100%)

日本(全事業所)。ただし営業所とユニ・チャームメンリックは燃料、電気、CO<sub>2</sub>のみ

ユニ・チャーム株式会社(本社事業所、営業所、開発、伊丹工場、三重工場、埼玉工場)、ユニ・チャームプロダクツ株式会社(福島工場、静岡工場、四国工場、九州工場)、ユニ・チャーム国光ノンウーヴン株式会社(豊浜製造チーム、川之江製造チーム、国光製造チーム)、コスモテック株式会社、ユニ・チャームメンリック株式会社、ペーパーレット株式会社、金生プロダクツ株式会社

### 海外(製造事業所のみ)

中国: 尤妮佳生活用品(中国)有限公司(上海工場、天津工場、江蘇工場)、尤妮佳无纺布(天津)有限公司、尤妮佳包装材料(天津)有限公司  
インドネシア: PT UNI-CHARM INDONESIA Tbk(カラワン工場、イーストジャワ工場)、PT. Unicharm Nonwoven Indonesia  
タイ: Uni.Charm (Thailand) Co., Ltd.(ウエルグロウ工場)、DSG International (Thailand) Public Co., Ltd.  
インド: Unicharm India Private Ltd.(スリシティ工場、ニムラ工場)  
台湾-大中華圏: 嬌聯股份有限公司(竹南工場)  
ベトナム: Diana Unicharm Joint Stock Company(バクニン工場)  
アメリカ: The Hartz Mountain Corporation(アレザントブレイン工場)  
韓国: LG Unicharm Co., Ltd.(亀尾工場)  
サウジアラビア: Unicharm Gulf Hygienic Industries Ltd.(リヤド工場)  
エジプト: Unicharm Middle East & North Africa Hygienic Industries Company S.A.E.(ラマダン工場)  
ブラジル: UNICHARM DO BRASIL INDÚSTRIA E COMÉRCIO DE PRODUTOS DE HIGIENE LTDA.(サンパウロ工場)  
ミャンマー: Unicharm Myanmar Company Limited  
マレーシア: Disposable Soft Goods(Malaysia)Sdn. Bhd.

### 方針・基準

「GHGプロトコル」を参考にした、環境情報管理に関する社内規定に基づき集計しています。

### 注記事項

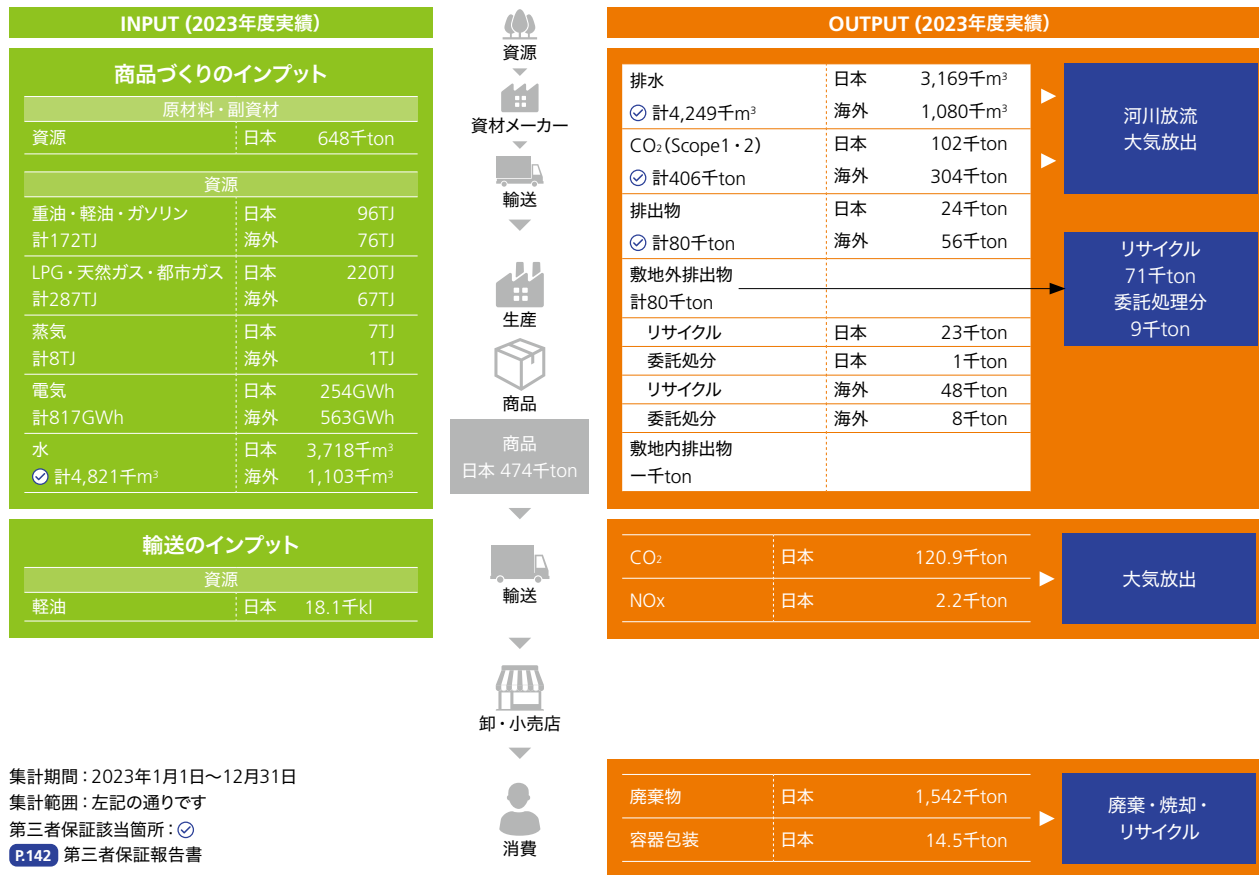
- Scope1に関しては、IPCC 2006 Guidelines for National Greenhouse Gas Inventoriesの排出係数に基づく算定を行っています。  
営業で使用する車はリースのためサステナビリティレポート2023までScope3-8に計上していましたが、サステナビリティレポート2024よりScope1で算出することとし、過年度となる2021年度、2022年度実績の見直しも行いました。
- Scope2に関しては、電気のCO<sub>2</sub>の排出量は日本国内分は、環境省の温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度の電気事業者別排出係数に基づく算定、海外分については原則として各国法規等の固有の係数に基づく算定を行っています。サステナビリティレポート2024より海外の排出係数を見直したため、過年度となる2021年度、2022年度実績の見直しも行いました。  
ブラジルは再生可能電力100%で、ミャンマーは自家発電100%となります。  
蒸気に関しては、IPCC 2006 Guidelines for National Greenhouse Gas Inventoriesの排出係数にて算定しています。
- Scope3に関しては、サステナビリティレポート2023までは算定対象を日本のみとしていましたが、サステナビリティレポート2024より海外も算定対象としました。  
海外の数値を算出するにあたり、排出係数を環境省データベースからLCIデータベース IDEA version3.2に変更しました。  
パウンダリの拡大・排出係数の見直しに伴い、2022年度までのScope3排出量については遡って海外分を含めるとともに、日本分はLCIデータベース IDEA Version3.2で再集計しています。  
営業で使用する車はリースのためサステナビリティレポート2023までScope3-8に計上していましたが、サステナビリティレポート2024より過年度となる2021年度、2022年度実績も併せてScope1で算出することとしました。  
また海外分はScope3-1、3-2、3-3、3-5、3-6、3-7、3-12は活動量から算出しましたが、その他のカテゴリーは売上高比率による推計値としています。
- 輸送については日本のみ集計しています。  
P.062の海外分Scope3においては、日本との売上比による推計値を記載しています。

- エネルギー換算に関しては、エネルギーの使用の合理化および非化石エネルギーへの転換等に関する法律に基づく算定を行っていますが、過年度である2021年度、2022年度についても最新の法律に基づき算定を行っています。
- 排水量を測定していない一部の拠点においては、排水量=取水量とみなして集計しています。
- 排出物には、産業廃棄物、事業系一般廃棄物、有価取引物を含みます。

- 敷地内排出物として集計したサーマルリサイクル量は、福島工場の焼却炉の廃止(2022年10月)に伴い、排出がなくなりました。
- 非財務情報の信頼性を高めるため、KPMGあずさサステナビリティ株式会社によるISAE3000および3410に基づく第三者保証を受けています。第三者保証該当箇所には◎マークを記載しました。

## ▶ ライフサイクルで見るエネルギー・マテリアルフロー

301-1,302-1,302-2,303-3,303-4,303-5,305-1,305-2,305-3,306-1,306-4



▶ 商品づくりにおけるインプット

原材料・副資材

		単位	2021	2022	2023
資源	日本	千ton	687	658	648

資源

		単位	2021	2022	2023
重油・軽油・ガソリン	日本	TJ	93	76	96
	海外		9	12	76
	合計	TJ	<b>102</b>	<b>88</b>	<b>172</b>
LPG・天然ガス・都市ガス	日本	TJ	238	190	220
	海外		107	75	67
	合計	TJ	<b>345</b>	<b>265</b>	<b>287</b>
蒸気	日本	TJ	78	90	7
	海外		—	1	1
	合計	TJ	<b>78</b>	<b>91</b>	<b>8</b>
電気	日本	GWh	273	272	254
	海外		449	587	563
	合計	GWh	<b>721</b>	<b>859</b>	<b>817</b>
水	日本	千m <sup>3</sup>	3,754	3,670	3,718
	海外		1,080	1,082	1,103
	合計	千m <sup>3</sup>	<b>4,834</b>	<b>4,752</b>	<b>4,821</b>
輸送における軽油	日本	千kl	18.3	18.3	18.1

▶ アウトプット

		単位	2021	2022	2023
排水	日本	千m <sup>3</sup>	3,296	3,296	3,169
	海外		1,070	1,076	1,080
	合計	千m <sup>3</sup>	<b>4,366</b>	<b>4,371</b>	<b>4,249</b>
CO <sub>2</sub> (Scope1・2)	日本	千ton	142	136	102
	海外		294	350	304
	合計	千ton	<b>437</b>	<b>486</b>	<b>406</b>
排出物	日本	千ton	26	26	24
	海外		52	61	56
	合計	千ton	<b>78</b>	<b>88</b>	<b>80</b>
敷地外排出物	日本	リサイクル	22	23	23
	日本		委託処分	1	1
	海外	リサイクル	40	49	48
	海外	委託処分	11	12	8
	合計	千ton	<b>75</b>	<b>86</b>	<b>80</b>
敷地内排出物	合計	千ton	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>—</b>
輸送におけるCO <sub>2</sub>	日本	千ton	126.6	121.2	120.9
輸送におけるNOx	日本	千ton	2.4	2.3	2.2
消費における廃棄物	日本	千ton	1,611	1,566	1,542
消費における容器包装	日本	千ton	15.6	14.7	14.5

▶ 【日本】商品総重量

	単位	2021	2022	2023
商品総重量	千ton	491	481	474

## 環境基本方針

### ▶ ユニ・チャームグループのISO取得状況(認証単位)

(2024年1月末時点)

取得認証単位名	ISO14001	ISO9001	ISO13485	ISO45001
ユニ・チャーム株式会社、ユニ・チャームプロダクツ株式会社*	○	○	○*	
ユニ・チャーム国光ノンウーヴン株式会社	○	○	—	○
コスモテック株式会社		○	—	
嬌聯股份有限公司	○	○	—	○
Uni.Charm(Thailand) Co., Ltd.	○	○	○	○
PT UNI-CHARM INDONESIA Tbk(Factory1)	○	○	○	
PT UNI-CHARM INDONESIA Tbk(Factory2)	○	○	○	
PT UNI-CHARM INDONESIA Tbk(Factory3)	○	○	○	
尤妮佳生活用品(中国)有限公司	○	○	—	
尤妮佳生活用品(江蘇)有限公司	○	○	—	○
尤妮佳生活用品(天津)有限公司	○	○	—	○
Unicharm Gulf Hygienic Industries Ltd.	○	○	—	○
LG Unicharm Co., Ltd.	○	○	—	
Unicharm India Private Ltd.	○	○	—	
Unicharm Australasia Holding Pty Ltd.		○	—	
Unicharm Middle East & North Africa Hygienic Industries Company S.A.E.	○	○	—	○
UNICHARM DO BRASIL INDÚSTRIA E COMÉRCIO DE PRODUTOS DE HIGIENE LTDA.		○	—	
Diana Unicharm Joint Stock Company		○	—	
DSG International(Thailand)Public Co., Ltd.	○	○	—	
Disposable Soft Goods(Malaysia)SDN BHD		○	—	

\* ISO13485についてはユニ・チャームプロダクツ株式会社のみ

—:取得対象外

### ▶ CDP評価

	2021	2022	2023
気候変動	A-	A-	A-
フォレスト	B	B	A
水セキュリティ	B	B	A

## 循環型社会

### プラスチック問題対応

#### ▶ 使用済み商品廃棄方法啓発

	2021	2022	2023
使用済み商品廃棄方法啓発展開率	38% (6カ国・地域)	50% (8カ国・地域)	56% (9カ国・地域)

#### ▶ 【日本】販促物におけるプラスチック使用量(ton)

	2019 (基準年度)	2021	2022	2023
陳列用のフック器具	6.25	0.49	1.45	0.09
骨仕器	0.92	0.56	0.18	0.02
ラック	6.89	23.53	0.58	0.00
その他(梱包材等)	17.04	3.77	3.46	3.97
合計	<b>31.10</b>	<b>28.35</b>	<b>5.67</b>	<b>4.08</b>

#### ▶ 【中国】販促物におけるプラスチック使用量(ton)

	2019 (基準年度)	2023
販促物におけるプラスチック使用量	119.8	28.2

## 脱炭素社会

### 気候変動対応

#### ▶ エネルギー使用量

		単位	2021	2022	2023	
日本		TJ	1,382	1,379	1,237	
海外	タイ	TJ	430	397	390	
	中国		465	372	382	
	インドネシア		572	561	532	
	インド		146	230	256	
	ベトナム		173	139	139	
	台湾一大中華圏		31	27	26	
	アメリカ		24	22	17	
	韓国		48	49	46	
	サウジアラビア		210	213	212	
	エジプト		51	59	73	
	ミャンマー		5	7	7	
	ブラジル		44	48	53	
	マレーシア		47	44	36	
	海外合計		TJ	2,245	2,169	2,169
	<b>合計</b>		TJ	<b>3,627</b>	<b>3,548</b>	<b>3,406</b>
原単位*1		TJ/百万円	0.005	0.004	0.004	

※ エネルギーの使用の合理化および非化石エネルギーへの転換等に関する法律に基づく算定を行っており、最新の法律に基づき2022年度以前の数値も遡及して再計算しています

\*1 原単位の分母には連結売上高を使用しています

#### ▶ Scope別・カテゴリ別CO<sub>2</sub>排出量

Scope	カテゴリ	単位	2021	2022	2023	備考
Scope1	直接排出	千ton	35.5	31.6	29.2	*4
Scope2	エネルギー起源の間接排出	千ton	465.2	454.5	376.9	
Scope3*2*3	1 購入	千ton	3,781.6	3,774.1	3,400.5	
	2 資本財		140.6	85.2	100.8	
	3 その他燃料		62.2	59.1	52.9	
	4 上流輸送		364.2	376.4	348.5	
	5 事業廃棄物		43.1	45.0	28.7	
	6 従業員の出張		2.1	2.1	2.1	
	7 従業員の通勤		12.5	12.7	13.1	
	8 上流のリース資産		0.0	0.0	0.0	*4
	9 下流輸送		108.3	110.5	111.3	
	10 販売した製品の加工		0.0	0.0	0.0	*5
	11 製品の使用		0.0	0.0	0.0	*5
	12 販売した製品の廃棄		2,033.4	2,138.0	1,896.3	
	13 下流のリース資産		0.0	0.0	0.0	*5
	14 フランチャイズ		0.0	0.0	0.0	*5
	15 投資		40.2	39.6	34.7	
Scope3 合計		千ton	6,588.2	6,642.7	5,988.9	
<b>合計</b>		千ton	<b>7,088.9</b>	<b>7,128.8</b>	<b>6,395.0</b>	

\*2 Scope3に関しては、「サステナビリティレポート2023」までは算定対象を日本のみとしていましたが、「サステナビリティレポート2024」より海外も算定対象としました。海外の数値を算出するにあたり、排出係数を環境省データベースからLCIデータベース IDEA version3.2に変更しました。パウンダリ拡大・排出係数の見直しに伴い、2022年度までのScope3排出量については遡って海外分を含めるとともに、日本分はLCIデータベース IDEA Version3.2で再集計しています

\*3 海外分はScope3-1、3-2、3-3、3-5、3-6、3-7、3-12は活動量から算出しましたが、その他のカテゴリは売上高比率による推計値としています

\*4 営業で使用する車はリースのため「サステナビリティレポート2023」までScope3-8に計上していましたが、「サステナビリティレポート2024」よりScope1で算出することとし、2022年度以前の数値も遡及して再計算しています

\*5 対象となる業務はありません

▶ Scope1、Scope2 CO<sub>2</sub>排出量

		単位	2021	2022	2023
日本*1		千ton	147.6	136.3	102.1
海外	タイ	千ton	42.9	40.5	37.2
	中国		58.1	47.5	25.7
	インドネシア		121.4	119.9	106.6
	インド		32.6	46.4	44.2
	ベトナム		27.3	22.3	21.3
	台湾一大中華圏		4.3	3.8	3.3
	アメリカ		0.1	0.1	0.1
	韓国		11.7	12.1	11.2
	サウジアラビア		38.2	39.2	37.6
	エジプト		8.1	9.7	11.5
	ミャンマー		0.3	0.6	0.5
	ブラジル		0.1	0.1	0.1
	マレーシア		8.0	7.7	4.8
	海外合計		千ton	353.1	349.8
合計	千ton	<b>500.7</b>	<b>486.1</b>	<b>406.2</b>	
原単位*2	ton/百万円	0.640	0.541	0.431	

\*1 営業で使用する車はリースのため「サステナビリティレポート2023」までScope3-8に計上していましたが、「サステナビリティレポート2024」よりScope1で算出することとし、2022年度以前の数値も遡及して再計算しています

\*2 原単位の分母には連結売上高を使用しています

▶ Scope3 CO<sub>2</sub>排出量

		単位	2021	2022	2023
日本*3		千ton	2,737.2	2,613.9	2,446.1
海外	タイ	千ton	864.9	801.9	778.6
	中国		896.8	945.9	814.3
	インドネシア		663.3	602.2	481.2
	インド		384.8	536.8	487.1
	ベトナム		165.3	163.7	156.2
	台湾一大中華圏		83.9	72.6	57.5
	アメリカ		103.6	143.5	109.1
	韓国		66.6	68.0	60.6
	サウジアラビア		391.9	442.3	371.9
	エジプト		54.4	82.1	68.0
	ミャンマー		74.5	79.6	91.9
	ブラジル		3.1	6.0	5.0
	マレーシア		98.0	84.1	61.4
	海外合計		千ton	3,851.0	4,028.9
合計	千ton	<b>6,588.2</b>	<b>6,642.7</b>	<b>5,988.9</b>	
原単位*4	ton/百万円	8.417	7.397	6.359	

\*3 営業で使用する車はリースのため「サステナビリティレポート2023」までScope3-8に計上していましたが、「サステナビリティレポート2024」よりScope1で算出することとし、2022年度以前の数値も遡及して再計算しています

\*4 原単位の分母には連結売上高を使用しています

▶ 再生可能電力調達量

		単位	2021	2022	2023
日本		千kWh	15,854	34,274	77,006
海外	タイ	千kWh	9,958	10,678	14,707
	中国		19,813	23,143	53,831
	インドネシア		0	927	8,229
	インド		0	0	5,880
	ベトナム		5,159	5,146	5,231
	台湾一大中華圏		0	0	390
	アメリカ		541	6,188	4,361
	韓国		0	0	0
	サウジアラビア		0	0	0
	エジプト		0	0	0
	ミャンマー		0	0	0
	ブラジル		12,374	13,230	14,199
	マレーシア		0	0	2,087
	海外合計		千kWh	47,844	59,312
合計	千kWh	<b>63,698</b>	<b>93,586</b>	<b>185,921</b>	
再生可能電力比率	%	7.3	11.0	22.8	

生物多様性社会

生物多様性保全

▶ 森林由来原材料

		単位	2021	2022	2023
第三者認証森林由来原材料調達量	日本	ton	117,606	155,378	163,317
	海外	ton	273,667	299,731	257,829
	合計	ton	<b>391,273</b>	<b>455,109</b>	<b>421,146</b>
原産地トレーサビリティ比率*1	日本	%	100.0	100.0	100.0
	海外	%	96.0	95.7	97.5
	合計	%	<b>97.0</b>	<b>97.1</b>	<b>99.2</b>

\*1 トレーサビリティ比率は、第三者認証材に加え、原産地(国・地域)トレーサビリティ確認ができた森林由来原材料(パルプ)の比率

▶ PEFC・CoC認証

		単位	2021	2022	2023
PEFC・CoC認証工場数比率	%		52.0	56.0	64.0
パルプのPEFC認証材調達比率*2			76.0	72.3	72.6

\*2 2023年度より調達比率の計算方法を「100%PEFC由来の主張が付されたパルプの仕入重量/パルプ全体の仕入重量」とし、船積み重量ベースから仕入重量ベースに変更しました。これに伴い、2022年度以前の数値も遡及して再計算しています

▶ 事務用紙の認証材比率

		単位	2021	2022	2023
事務用紙の環境配慮品比率	%		98.9	99.9	99.6
100%古紙を配合した事務用紙			97.0	97.7	83.5
認証材を使用した事務用紙			1.9	2.2	16.1

▶ オーガニックコットンを使った商品数(日本)

	商品数
2021	23
2022	33
2023	53

▶ パーム油

	単位	2021	2022	2023
パーム油調達量	ton	152.0	164.8	166.2
認証パーム油*1調達量		117.3	119.0	113.1
原産地トレーサビリティ比率	%	77.2	72.2	68.0
認証パーム油*1調達比率		77.2	72.2	68.0

\*1 認証パーム油は、マスバランス方式によるRSPO認証油

排出物削減と汚染防止

▶ 排出物発生量

		単位	2021	2022	2023
日本		千ton	26.2	26.3	23.9
海外	タイ	千ton	8.0	7.6	7.3
	中国		19.5	17.1	17.8
	インドネシア		8.3	8.1	7.2
	インド		6.5	8.0	6.6
	ベトナム		6.0	5.8	5.7
	台湾-大中華圏		0.8	0.8	0.7
	アメリカ		4.4	4.0	1.0
	韓国		1.6	1.5	1.3
	サウジアラビア		3.9	4.1	4.2
	エジプト		1.5	1.7	1.9
	ミャンマー		0.010	0.011	0.013
	ブラジル		1.2	1.2	1.2
	マレーシア		1.5	1.3	1.0
	海外合計		千ton	63.2	61.2
合計	千ton	89.4	87.5	79.8	
原単位*2	ton/百万円	0.114	0.097	0.085	

\*2 原単位の分母には連結売上高を使用しています

▶ リサイクル率

	単位	2021	2022	2023
日本*3	%	99.5	99.3	99.6

\*3 国内主要4拠点(ユニ・チャーム プロダクツ株式会社の福島工場・静岡工場・四国工場・九州工場)のマテリアルリサイクルとサーマールリサイクル(福島工場の焼却炉が稼働していた2022年度まで)の合計で算出

▶ 【日本】PCB(ポリ塩化ビフェニル)保管状況

	単位	2021	2022	2023
PCB保管台数	台	0	0	0

▶ 【日本】PRTR(化学物質排出移動量届出制度)対象物質総排出量

	単位	2021	2022	2023
トルエン	ton/年	43.1	43.2	180.1
エチレンオキシド	kg/年	18.8	95.8	31.9
ダイオキシン	mg-TEQ/年	0.085	0.290	0.000
メチルナフタレン	ton/年	0.10	0.10	0.04

▶ 【日本】NOx・SOx排出量

	単位	2021	2022	2023
NOx	ton	15.7	15.2	12.2
NOx原単位	kg/百万円	0.056	0.053	0.038
SOx	ton	5.9	5.7	9.3
SOx原単位	kg/百万円	0.021	0.020	0.029

▶ 【日本】オゾン層破壊物質保有量

物質名称	事業所	用途	単位	2023
ハロン(第1種)	ユニ・チャームプロダクツ静岡工場	消火剤	ton	1.6
	ユニ・チャームプロダクツ四国工場(香川)			0.07
	ユニ・チャーム(その他開発等 香川)			0.0001
HCFC(第1種)	ユニ・チャームプロダクツ福島工場	冷媒	ton	2.6
	ユニ・チャームプロダクツ静岡工場			3.6
	ユニ・チャームプロダクツ九州工場(福岡)			2.3
	ユニ・チャームプロダクツ四国工場(香川)			3.7
	ユニ・チャーム国光ノンウーヴン(愛媛・香川)			0.65
	ユニ・チャーム(ペットケア:兵庫・三重・埼玉)			0.93
	ペパーレット(静岡)			0.04
	ユニ・チャーム(その他開発等 香川)			0.86
CFC	ユニ・チャーム(その他開発等 香川)	冷媒	ton	0.001

※ フロン排出抑制法に基づく自社物件について報告しています

▶ 【日本】BOD・COD

	単位	2021	2022	2023
BOD	ton	23.0	14.4	16.2
COD		20.5	9.8	18.6

水循環社会

水資源

▶ 水使用量(取水量)\*1

	単位	2021	2022	2023
日本	千m <sup>3</sup>	3,754	3,670	3,718
海外		1,080	1,082	1,103
合計	千m <sup>3</sup>	<b>4,834</b>	<b>4,752</b>	<b>4,821</b>
原単位*2	千m <sup>3</sup> /百万円	0.006	0.005	0.005

\*1 2023年度より一部推計値の修正と算出方法の見直しを行いました。これに伴い、2022年度以前の数値も遡及して再計算しました

\*2 原単位の分母には連結売上高を使用しています

▶ 【日本】水源別水使用量(取水量)\*3

	単位	2021	2022	2023
表層水(河川、湖沼、池)	千m <sup>3</sup>	155	157	152
地下水		760	697	660
その他		2,840	2,816	2,906
合計	千m <sup>3</sup>	<b>3,754</b>	<b>3,670</b>	<b>3,718</b>
うち、水質汚濁防止法特定施設を有する拠点				
表層水(河川、湖沼、池)	千m <sup>3</sup>	7	6	4
地下水		385	406	389
その他		2,840	2,816	2,906

\*3 2023年度より一部推計値の修正と算出方法の見直しを行いました。これに伴い、2022年度以前の数値も遡及して再計算しました

▶ 【海外】水源別水使用量(取水量)\*4

	単位	2021	2022	2023
表層水(河川、湖沼、池)	千m <sup>3</sup>	1,003	960	1,009
地下水		42	79	61
その他		36	43	33
合計	千m <sup>3</sup>	<b>1,080</b>	<b>1,082</b>	<b>1,103</b>
うち、高い水ストレスを伴う地域				
表層水(河川、湖沼、池)	千m <sup>3</sup>	630	640	691
地下水		33	71	54
その他		0	0	0

\*4 2023年度より一部推計値の修正と算出方法の見直しを行いました。これに伴い、2022年度以前の数値も遡及して再計算しました



## ▶ 排水量\*1

	単位	2021	2022	2023
日本	千m <sup>3</sup>	3,296	3,296	3,169
海外		1,070	1,075	1,080
合計	千m <sup>3</sup>	<b>4,366</b>	<b>4,371</b>	📌 <b>4,249</b>
原単位*2	千m <sup>3</sup> /百万円	0.006	0.005	0.005

\*1 排水量を測定していない一部の拠点においては、排水量=取水量とみなして集計しています。2023年度より一部推計値の修正と算出方法の見直しを行いました。これに伴い、2022年度以前の数値も遡及して再計算しました

\*2 原単位の分母には連結売上高を使用しています

## ▶ 水ストレススコア\*3

	単位	2023
極めて高い	工場数	11
高い		3
中程度		10
低い		15

\*3 水ストレスの把握には、世界資源研究所(WRI)のツールであるアキダクト(Aqueduct Overall Water Risk Map)の最新バージョンを使用しています

## ▶ 高い水ストレスを伴う地域からの取水量・割合\*4

	単位	2021	2022	2023
高い水ストレスを伴う地域からの取水量	千m <sup>3</sup>	664	711	745
高い水ストレスを伴う地域からの取水の割合	%	13.7	15.0	15.5

\*4 2023年度より一部推計値の修正と算出方法の見直しを行いました。これに伴い、2022年度以前の数値も遡及して再計算しました